

9月15日(火)(2日目) 日程表

8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
	2501m 代謝と炎症・免疫の接点： イムメタボリズム 有田 誠・菅波 孝祥			男女共同参画推進 ワークショップ		2PL01 本原 佑	2501a 疾患治療に向けた 多機能バイオロジクスの展開 伊東 祐二・石井 明子		2501e ケモテクノロジーが拓く ユビキチンニューロンティア 佐伯 泰・沖米田 司			
	2502m オルガネロスタシス -オルガネラの恒常性とその破綻 藤木 幸夫・藤本 豊土					13:50 14:40	2502a タンパク質架橋化反応から 展開する医療と創薬に向けた基礎研究 人見 清隆・川畑 俊一郎		2502e シンポジウム 「化学で攻める新しい創薬のカタチ」 藤川 雄太・小松 徹			
	2503m アルツハイマー病の病態・ 治療に関わる分子機構の最前線：アップデート 羽田 沙緒里・若田 修永					14:50	2503a 三量体G蛋白質-GEF-GAPシグナル： 受容体シグナルの時空間的選択性と 多様性の生化学 土居 雅夫・清水 (小林) 拓也		2503e Gタンパク質共役型受容体の 構造機能相関・創薬の新戦略に向けて 横山 茂之・奥野 利明			
	2504m モノ/ポリADP -リボシル化経路による多様な生体制御 益谷 美都子・ハルミロ ポルトロニエリ						2504a 膜タンパク質の構造制御と機能制御 高橋 素子・白土 明子		2504e シングルセル解析で読み解く 間質細胞の多様性 大石 由美子・真鍋 一郎			
	2505m Calcineurin/NFATシグナルの ダイバーシティ 神沼 修・水口 博之						2505a ホスファターゼで解き明かす 生理と病態のメカニズム 大西 浩史・武田 弘貴		2505e プロテインキナーゼシグナリング 研究の新たな挑戦 松沢 厚・梶本 武利			
	2506m 膜輸送体による物質不均衡の新機軸 -脂質の非対称分布とその制御を担う脂質輸送体- 阿部 一啓・申 恵媛						2506a ますます広がる NGLY1の世界 -細胞質の脱糖鎖酵素の多機能性- 鈴木 匡・吉田 雪子		2506e 糖鎖関連酵素の新たな姿 木塚 康彦・矢木 宏和			
	2507m 初期胚の生化学的、遺伝学的、 そしてエピジェネティックな解析による 全能性の理解 塩見 春彦・小倉 淳郎						2507a 核内因子ネットワークによる遺伝子制御機構 立和名 博昭・佐藤 優子		2507e ゲノム反応中間体としての非B型核酸： その構造と生物学的意義 川上 広直・正井 久雄			
	2508m 新たな酸化脂質研究の潮流 今井 浩季・内田 浩二						2508a データ駆動型科学で切り開く認知症研究 飯島 浩一・菊地 正隆		2508e 古くて新しいイオウとセレンの生化学： その多様な生理機能 木村 英雄・小笠原 裕樹			
	2509m 学際研究で切り拓く脂質と アミノ酸のメタボダイナミズム 島野 仁・高橋 伸一郎						2509a 細菌が放出するナノ粒子の 新たな病原性とワクチンとしての可能性 泉福 英信・中尾 龍馬		2509e オルガネラ境界膜を巡る宿主と病原体の攻防 森田 英嗣・熊谷 圭悟			
	2510m 小胞体を基軸とした生体の 高次生命機能および疾患の制御 三宅 雅人・門脇 寿枝						2510a ミトコンドリアでつながる細胞機能 石原 孝也・新崎 恒平		2510e 「核とミトコンドリアのシナジー」 から紐解く生老病死の生化学 田中 知明・井上 聡			
	2201 糖質生物学-II 岡 昌吾・岡島 徹也						2206 細胞の構造と機能-I 大橋 一正・申 恵媛		2210 脂質生物学-III 坪井 一人・藤森 功			
	2202 脂質生物学-II 木原 章雄・板部 洋之						2207 細胞応答-II 松沢 厚・三浦 正幸		2211 シグナル伝達-II 影山 龍一郎			
	2203 タンパク質-III 津下 英明・神島 成弘						2208 疾患生物学-III 加藤 靖正・古川 龍彦		2212 新領域・新技術-I 都築 毅・藤川 雄太			
	2204 酵素・代謝-II 林 秀行・人見 清隆						2209 神経科学-II 内田 隆史・内匠 透		2213 免疫・感染症-I 山崎 晶・千原 一泰			
	2205 先端医療イノベーション-I 西村 正樹・伊東 祐二											

<使用言語> J: 日本語 E: 英語 J/E: 日本語・英語混合

<プログラム記号> PL: 特別講演 S: シンポジウム Z: 一般口頭発表 Z: Zoomセッション